
「当院における入院時支援の実態調査」に関するお知らせ

このたび、当院で入院時支援を行った患者さんの診療録を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報を使用することにご賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2024 年 04 月 01 日から 2025 年 03 月 31 日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、入院時支援を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

当院では 2018 年度から入院時支援を行っています。入院時支援対応を行った患者さんが、入院後の退院支援に連携がとれているか実態を調査することが今回の研究目的です。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026 年 03 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後より 1 か月後程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

※診療記録より、年齢、性別、病名、問診票の該当項目（つらい症状があり日常生活に支障がある、食事・排泄・着替えなどで手助けが必要である、認知症、物忘れがある、自己判断が困難、独居、介護を依頼できる人がいない、医療費の心配がある、介護保険サービスの利用がある、入院の目的を理解していない、食事はいつもの半分以上しか食べられていない、18 歳未満で家族に対する介助や介護を日常的に行っている、介助や介護を 18 歳未満の家族から日常的に受けている、治療と仕事の両立に悩んでいる、上記以外）、入院の有無、入退院支援に係る記録、入院時支援加算の算定の有無を調べます。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である戸上 康代が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

入院時支援対応をした患者さんの診療記録を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 包括的患者相談支援センター 戸上 康代（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 包括的患者相談支援センター 戸上 康代

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：当院における入院時支援の実態調査

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 包括的患者相談支援センター 戸上 康代